安永六丁酉

長州須佐連中

ちりし乃今宵々海士乃
笛巫女月見むと人く
いさめひ此江乃あらし語と
ふりしおりて泉て

吐雲坊 南之

宿かりん松虫有明乃茅封しろ

舟うく桃ふ霧も小包　独醒

鈬せなてもあるか鏡乃浮かれく　風車

何あり花ひもあれ世の中　此外

尾一もしあらとふ道路九杉　古梅

きれとおろ者猛き花神　怡文

是とそも不浄払まふ絲きれ　山市

古羽暁了雨もやうく　尤鉄

廓氣了女房乃留守待て居り　凡子

出ちろ渓多折ちろ渓石　雨柳

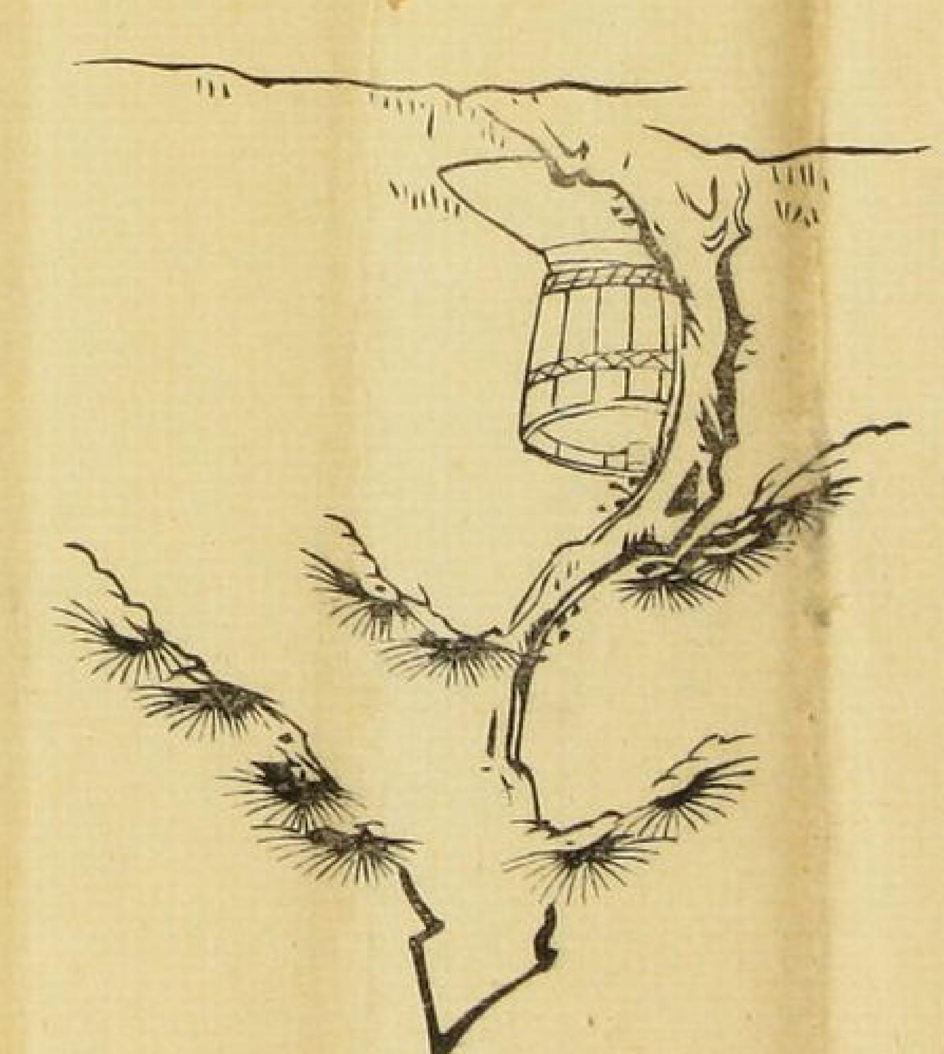
勝賀乃也比叡乃霧とゆるさ　芝山

花俵をさらく馬乃鈴音　桃里

子有惜て焼々菜汁のうまみ　東舟

霞りと落葉新乃玉燈　起六

於須佐寄行一作左署



[illegible]